

項目	アンケート結果から	改善策等
学校教育目標について	<p>どの項目も概ね高い肯定的な評価を得ました。</p> <p>「自ら学びとる子」(No.4)については、92%の肯定的な評価を得ました。学校図書館・ICT 機器の活用した授業を中心に「伝え合う力」の育成に努めてきた成果と考えます。「思いやりがあり協力する子」(No.5)についても 92%の評価を得ました。「心も体も強く実行する子」(No.6)については、87%の評価ですが、コロナ禍のため、思うように体を動かせないことも影響していると考えます。</p>	<p>「目指す児童像」については、今後も引き続き指導してまいります。</p> <p>「自ら学びとる子」については、学校図書館や ICT を活用した授業をさらに充実させ、言語力や表現力の育成に力を入れていきます。</p> <p>「思いやりがあり協力する子」については、引き続き心の教育や道徳教育に力を入れ、児童に寄り添う指導を心がけていきます。</p> <p>「心も体も強く実行する子」については、コロナ禍でもできる学習や活動を工夫して行い、体力向上に努めていきます。</p>
学習指導について	<p>保護者からは、87%(No.12)、児童は「授業中進んで発表したり勉強したりしている」(No.1)は 79%の評価を得ました。また、教職員から「学校図書館や図書館指導員、ICT、IT アドバイザー、理科支援員や ALT 等を効果的に活用した学習」(No.9)について、肯定的な回答が 96%でした。学習活動が制限される中でしたが、図書館指導員や IT アドバイザー等連携し、学習が充実できた成果と思われます。</p>	<p>学校図書館や ICT を活用した授業に加え、基礎的な学力を生かした、思考力・判断力・表現力の育成にも力を入れ、自分の考えを表現し伝え合う活動を様々な場面で取り入れていきます。</p> <p>図書館指導員や ICT アドバイザー、理科支援員等の人材も活用し、授業の工夫に努めていきます。</p>
家庭学習について	<p>保護者も児童から、肯定的な評価を得ました。特に児童からは、「宿題を必ずやっている」(No.2)の回答が 92%とほとんどの児童が宿題をやっていることが分かります。ご家庭での声掛けも大きいと思います。</p>	<p>家庭学習は、学習の定着を図るとともに、学ぶ習慣を身につけさせるために行っています。学校でも家庭学習や自主学習について充実させていきます。</p>
分かりやすい授業	<p>保護者からは 93%(No.11)、児童は 91%(No.9)の肯定的な評価を得ました。</p>	<p>今年度から導入された一人一台端末の効果的な活用方法について、今後さらに教職員の研修を進め、児童の実態に合わせた活用を行い、分かる授業の実現に努めていきます。</p>

生徒指導について	学校生活の充実	「楽しく学校に通っている」について保護者からは92%(No.17)の評価を得ました。児童からは83%(No.7)の評価を得ました。	今年度もコロナ感染症拡大防止のため、多くの学校行事が中止や変更になりました。今後も感染症対策は行っていますが、児童の主体性を大切に、互いを認め合い、喜びを共有できるような学校行事や授業等の工夫に努めていきます。
	児童理解	保護者からは90%(No.10)の評価を得ました。児童からは89%(No.11)、教職員からは、94%(No.13)の評価を得ました。保護者、児童、教職員ともに高い評価であることから、良好な関係が築けていると考えられます。	今年度は、分散ではありましたが授業参観やオンラインによる懇談会を実施することができ、保護者と担任がつながって教育活動を行えたことは大変有意義でした。コロナウイルス感染症による不安や心配事を抱えている児童や保護者も少なくないと思います。保護者や児童が気軽に相談できる体制を築いてまいります。
	あいさつ	保護者からは75%(No.14)、児童は82%(No.4)の評価を得ました。児童の評価が高いのは、委員会活動をとおしてあいさつ運動を行ってきた成果があると考えます。	あいさつについては、学校でも課題があると考えています。教職員も積極的にあいさつを交わしていくようにしてまいります。保護者、地域、児童、教職員ともに気持ちのよいあいさつができるように指導してまいります。
健康・安全指導	感染症対策	保護者からは、96%(No.18)が肯定的な回答を得ました。保護者の方をはじめ、地域の皆様のご理解とご協力のお陰と思います。	子どもたちの安全を第一に考えた対応を今後もしてまいります。学校行事等をただ単に中止にするのではなく、感染症対策を講じた上で最善の方策を考えて実施してまいります。
	安全面対応	保護者から90%(No.1)、教職員からは86%(No.20)の回答を得ました。	今後もPTA、安全推進隊等による、見守りを行ってまいります。事故やけがについては、状況確認を速やかに行い、丁寧な対応をしていきます。
その他	学校教育で力を入れていくこと	保護者からは、「道徳教育・心の教育」に対する必要感や関心が高いことが分かりました。次に重要と考えていることは「学力向上」、「体力向上」「いじめ・人権問題」と続いています。	児童がよりよく生きるための基盤となる道徳教育に一層力を入れて指導していきます。さらに、個に応じた指導を充実させ、確かな学力を身に付けさせるために、授業改善に努めていきます。

<教育活動アンケートに寄せられたご意見について>

<p>【学校の施設について】</p> <p>*学校施設・遊具についてのご意見が多く寄せられました。</p> <p>○今年度改修した施設：1 校舎体育館側の昇降口及び体育館への通路のバリアフリー化。 1 校舎 2 階の廊下床の張替え・2 校舎階段を LED 電球に取り換え。2 校舎廊下と特別教室等の段差解消工事等</p> <p>○古い建物ですが、改修できるところは、柏市に要望を出し、改修をお願いしているところです。</p> <p>○夜間暗くて危険な 2 校舎・3 校舎付近に外灯照明を設置しました。</p> <p>○遊具について：柏市の遊具点検により、現在使用できない遊具もありますが、使用できるように修繕や改修を進めています。 円形雲梯は撤収し、新しい通常タイプの雲梯が設置されました。 鉄棒は、6 連タイプのもので 2 つ（2 校舎側）設置の予定です</p>
<p>【安全面について】</p> <p>○門や校舎の施錠については、正門も東門も児童が登校後、閉めるようにしています。また、体育館のドアや昇降口も同様に閉めるようにし、体育館使用時や休み時間にとの都度開閉するようになっていきます。</p> <p>○不審者対応については、教職員の研修を行う予定です。本校の学校施設でどのように防犯をしていったらよいか研修を行っていきます。</p>
<p>【教職員について】</p> <p>○教職員の対応についても様々なご意見をいただきました。どのご意見も真摯に受け止め、児童への指導に生かしていきたいと思えます。</p> <p>○食物アレルギーの対応については、児童の命に係わることで、担任が不在でも対応できるように今後も学校全体として取り組んでいきます。</p> <p>○教師の言動が児童へ与える影響が大きいことを改めて受け止めていきます。何気ない教師の対応が、児童の心に傷を負わせてしまうことがあることを認識し、まず子どもの気持ちに寄り添い、丁寧な指導を継続していくことが肝要と考えています。全ての教職員が児童理解や学習指導の研修を重ね、誤解や行き違いによって信頼関係を損ねないようにしていきます。</p>
<p><その他></p> <p>○荷物の持ち帰りについて、ランドセルが重くならないように不要なものは学校においていくように声掛けをしております。</p> <p>○給食で使用する白衣について、令和 4 年度より各自ご準備していただいた白衣を使用することが可能になります。なお、今までどおり、学校の白衣を使用することも可能です。</p> <p>○体操服の肌着着用について、学校で着用を禁止していることはなく、肌着の着用は可能です。健康診断等で肌着を脱ぎ着することもございます。</p>

<学校運営協議会委員からのご意見>

○学校が楽しいという児童が多いのがうれしいです。これからも子どもたちの声に寄り添って子どもたちの声に寄り添ってほしい。

○概ね高い肯定的な評価を得ているものの、「そう思う」が一定の項目の中でやや減少傾向にあることが少し気になりました。各項目に関連する具体的な改善策等を踏まえて、中間的な推移を見た方がよいものもあるのかもしれない。

○地域の活用について、その必要性を感じている結果が見られたので、地域との一層の連携を期待します。

○保護者から寄せられた意見に教職員の教育活動への感謝の意見が多く寄せられ救われました。対応に苦慮する意見もあるかと思いますが、教職員、保護者、地域の連携を大切に子どもたちの成長の支えとなり温かく見守っていただけることを願っています。